

サキホコレ学園

Aチームが行く!



仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

ABS 秋田放送

今回、サキホコレ学園Aチームが訪れたのは、秋田県民なら誰でも知っている放送局、ABS秋田放送。テレビやラジオ業界で働く人に会えるなんて楽しみです!ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、2年前にできたオシャレな新社屋へ突撃です!

今回のパイセン



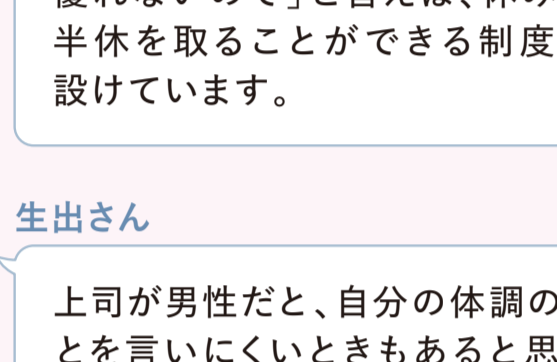
生出さん
Aチーム
本日はよろしくお願いします。



加賀谷さん
よろしくお願いします。私は総務部長の加賀谷です。



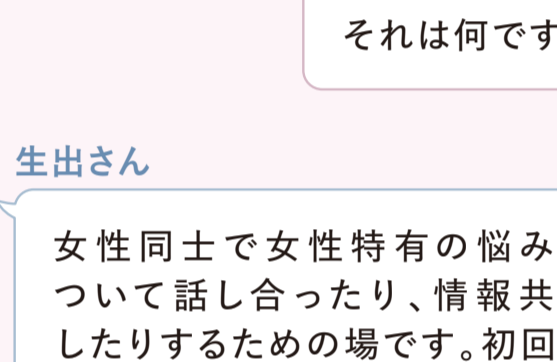
生出さん
総務部の生出です。報道部の記者も経験してきたので取材をすることは慣れているのですが、今日は逆に取材される立場ということで少し緊張しています。



Aチーム
私たちにっては身近な4チャンネルのABSですが、簡単に会社の概要を教えてくださいませんか?



加賀谷さん
弊社は県内最初の民間ラジオ放送局として1953年に発足し、1960年にテレビ放送を開始、この新社屋へは2020年に移転しました。現在の従業員数は約140名で、そのうち23%が女性となっています。



Aチーム
ABSは女性が働きやすい会社だと聞いています。いろいろ特徴的な取り組みをされているそうですね。

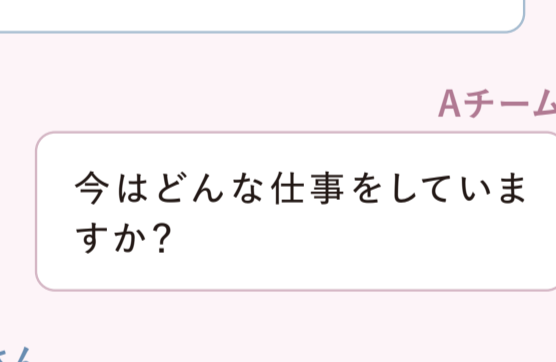


加賀谷さん
F休というものがあります。Fは「Female(女性)」の頭文字で、女性特有の事情。たとえば生理痛がつかいときに「ちょっと体調が優れないので」と言えば、休みや半休を取ることができる制度を設けています。



生出さん
上司が男性だと、自分の体調のことを言いにくいときもあると思いますが、具体的な理由をお伝えしなくてもいいので利用しやすいです。仕事のパフォーマンスの向上にもつながると思います。

Aチーム
それは助かりますね。



加賀谷さん
この夏に初めてF打ち合わせというものも開かれました。

Aチーム
それは何ですか?



生出さん
女性同士で女性特有の悩みについて話し合ったり、情報共有したりするための場です。初回のF打ち合わせでは、仕事と不妊治療を両立していく方法をみんなで考えました。

Aチーム
素敵な制度ですね。身近に女性特有の悩みを打ち明けられる場所があるのは、すごく心強いと思います。ところで生出さんは、どうしてABSで働こうと思ったのですか?



生出さん
実家がある宮城県石巻市で震災を経験し、その後しばらくして被災地の人口が減っているという新聞の記事を読んだのがきっかけです。人口が減っている地域の魅力を掘り起こす番組を作って、少しでも人口減少に歯止めをかけることができたら...と考えたんです。秋田も人口減少が深刻で、自分がフォーカスしたテーマに取り組めるのではと考え、縁あって内定をもらったABSへの入社を決意しました。



Aチーム
考えていた番組は作れましたか?

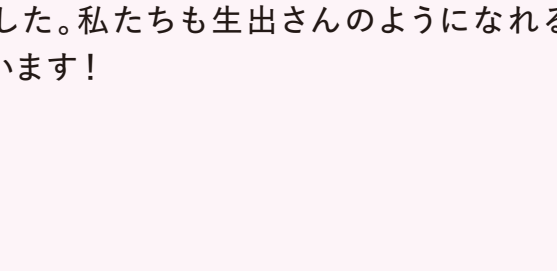


生出さん
人口減少を食い止めるための番組は作れていません。ただ、ABS news every.の番組の中で「なぜ今・秋田で放送するのか」を考えながら、秋田で活躍している人などを取材し、特集を作りました。今後チャンスが来て自分の番組を作るタイミングにも、報道部の記者としての経験は活きて考えます。

Aチーム
今はどんな仕事をしていますか?



生出さん
総務部で電話対応や社員の困りごとの対応、県内のSDGs推進に向けたCM制作を行っています。中学校で「働くこと」をテーマに講演も行いました。



Aチーム
生出さんのように理想の職業に巡り会うには、どうしたらいいですか?

生出さん
好きなこと、やりたいことは出来る範囲で取り組んでみると良いと思います。そうすると、好きなもの、嫌いなもの、得意不得意などが分かってくると思います。時間を自由に使える学生のうちは、あまり就活を意識し過ぎず、いろいろなことにチャレンジしてみるのがよいと思いますよ。

Aチーム
生出さんが秋田に来たのは、ABSに入社したときが初めてですか?

生出さん
最終面接のときに初めて秋田に来ました。前日に少しだけ秋田を観光したのですが、食べものはおいしいし、人は優しいし、すぐにこの土地が好きになりました。冬の雪の多さには驚きましたし、車がないと不便だとは思いますが、もう慣れました。

Aチーム
お休みの日は何をして過ごしていますか?

生出さん
甘いものが好きなのでカフェを巡ったり、県内各地の伝統行事を見に行ったり。今年は西馬音内の盆踊りに行きました。次は横手のかまくらかなあ。取材で行ったことはあるのですが、プライベートでゆっくり見たいとずっと思っていたので。

Aチーム
私たち以上に秋田を満喫していますね(笑)最後に、生出さんの今後の目標を聞かせてください。

生出さん
私は就活の時に『人やものの表現を助けたい』という軸を持っていました。その思いは今でも変わっていないので、秋田に関わる人やものの個性、魅力をお伝えしていきたいと思っています。自分の仕事としっかり向き合いながら、後輩にきちんと仕事を教えることができ、何か困ったことがあったときに頼られる人でありたいと思っています。それと皆さんがこのような取材をしなくても、当たり前女性が活躍できる機運を高めていきたいです。「女性活躍と言っていること自体が古いよね。秋田はそんなの当然」と言える未来が訪れることを願って。

仕事と家庭のどちらにも全力投球だった両親の影響を受け、「結婚、出産というライフイベントが訪れても、キャリアを諦めない母親のような女性になろうと思った」という生出さんは、キュートな見た目からは想像もつかない強い信念をもつ大人の女性でした。私たちも生出さんのようになれるように頑張りたいと思います!